

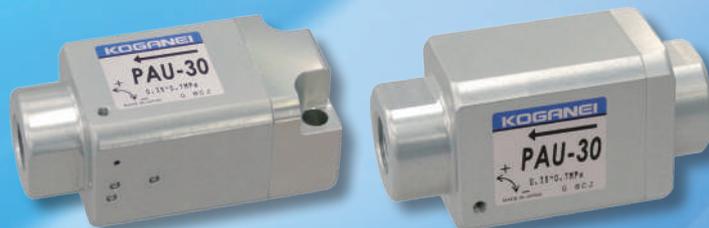
エアブロー工程の省エネ提案 パルスブローシリーズ

圧縮空気はタダじゃない!!

圧縮空気を約50%削減

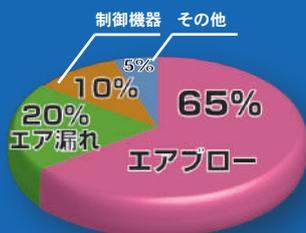
電気不要! 電気を使わずにパルスエアを発生します!

NEW 小形パルスブロータイプ



パルスブローエアガン PAGシリーズ

パルスブローユニット PAUシリーズ



工場エアの削減対策!

圧縮空気をつくる空気圧縮機は工場全体の電力量の約20%を占めると言われています。その中で、圧縮空気の約65%がエアブローで消費されることが多いようです。パルスブローエアガンで圧縮空気の消費量を削減し工場の省エネに繋げましょう。

世界初!

パルスブローエアーガン **PAG** シリーズ

PAT. PEND.

電気不要!

パルスエア発生ユニット内蔵



トリマー：パルス周波数調整
マイナスイターで調整可能

軽量設計

194g

※本体のみ

電気不要
バルブ内蔵

パルスエア発生ユニット内蔵
圧縮空気を配管するだけ

●パルスブロー流量目安：80～145L/min

ノズルバリエーション 増幅ノズル



- 風量約 4.5 倍
(消費流量は標準ノズルφ3と同じ)
- 標準ノズルオリフィス径
φ2mm, φ3mm, φ4mm
- ロングノズル(オリフィス径 φ2.3)
170mm, 220mm

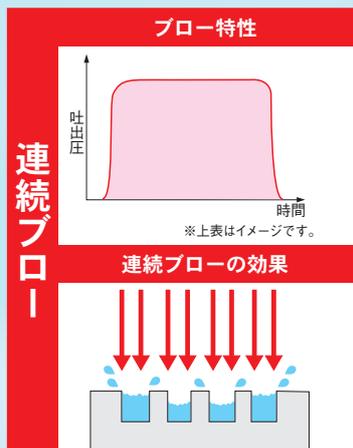
CO₂の削減

お客様のCO₂削減活動(コンプレッサー電気料金削減)のお手伝いをいたします。

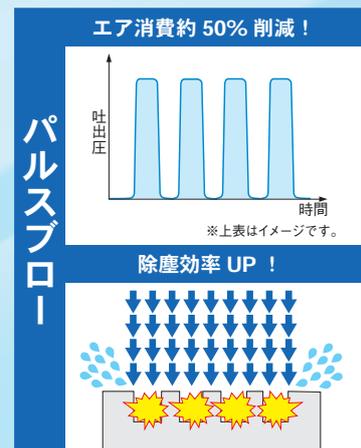
	パルスブローエアーガン PAG-2 1台当たり	スタンダード PAU 1台当たり	大流量タイプ PAU-30 1台当たり	小形タイプ PAU-05 1台当たり
電力 kWh	2368 → 1184	3068 → 1534	7437 → 3718	794 → 397
CO ₂ kg	1028 → 514	1332 → 666	3228 → 1614	345 → 172
コスト	5,960円/年の削減	7,723円/年の削減	18,718円/年の削減	3,996円/年の削減

備考：《上記算出条件》 1日稼働時間2時間、年間稼働日数240日、CO₂排出係数(2020年東京電力の値)0.434kg-CO₂/kWh
1m³当たりの圧縮空気のコスト2.5円、※当社試験条件による「連続ブローの値」→「パルスブローの値」

パルスブローのメリット



連続ブローを
パルスブローに変えると、...!



除塵効率 UP !!

パルスブローエアは、除塵対象物に断続的に衝撃を与えることで連続エアブローと比べ除塵効率が良いとされています。

電気不要！

お使いのエアガンにパルスブローユニットを取付けるだけでパルスブローエアガンとして使えます



小形タイプ

PAU-05

・小形・軽量

全長 33.8mm ~ 46.6mm、質量 14g, 15g

・豊富な配管バリエーション 詳細は⑩ページをご覧ください。

IN 配管： M5 めねじ、φ4 クイック継手、φ6 クイック継手、Rc1/8、R1/8、G1/8

●パルスブロー流量目安：10 ~ 55L/min

NEW



(IN 配管 M5 めねじ) (IN 配管 φ4 クイック継手) (IN 配管 φ6 クイック継手) (IN 配管 Rc1/8 めねじ) (IN 配管 R1/8 おねじ) (IN 配管 G1/8 おねじ)

スタンダード PAU

●パルスブロー流量目安：80 ~ 125L/min

軽量設計

73g

本体：アルミ材質

装置取付可能

アディショナルパーツのブラケットを取付けることで、エアブロー工程に設置、使用できます。

トリマー：パルス周波数調整
マイナスドライバーで調整可能



大流量タイプ PAU-30

●パルスブロー流量目安：160 ~ 270L/min

流量 2 倍!!

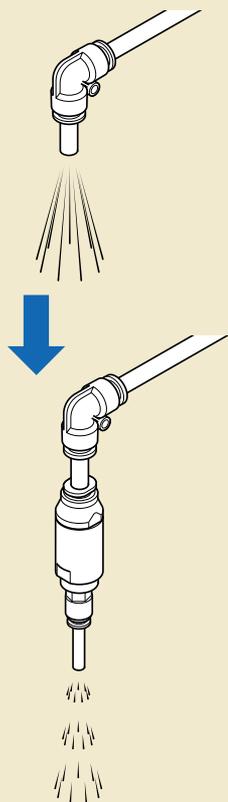
- ・流量倍増で PAU と比較して除塵能力 UP !
- ・流量 2 倍なのに体積比 130% (PAU 比) でスペース効率向上!
- ・ダイレクトマウントにより装置への取付に最適! ブラケット不要



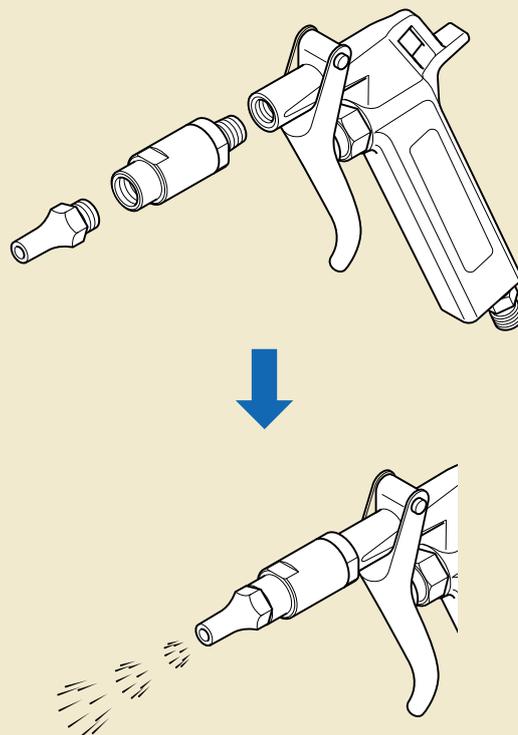
ダイレクトマウントタイプ

使用例

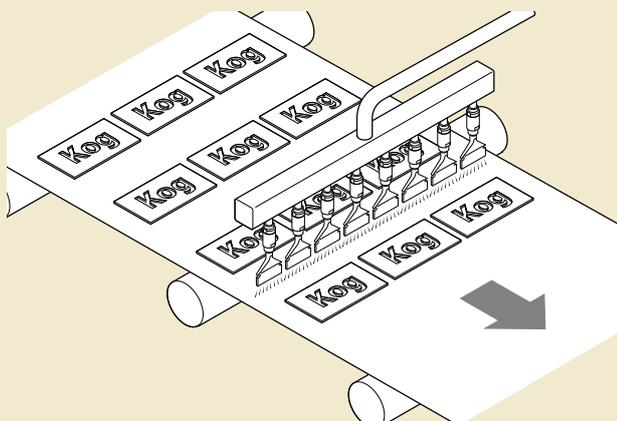
●配管チューブの先端に小形パルスブローを取付けます。



●エアガンのノズル先端との間に小形パルスブローを取付けます。

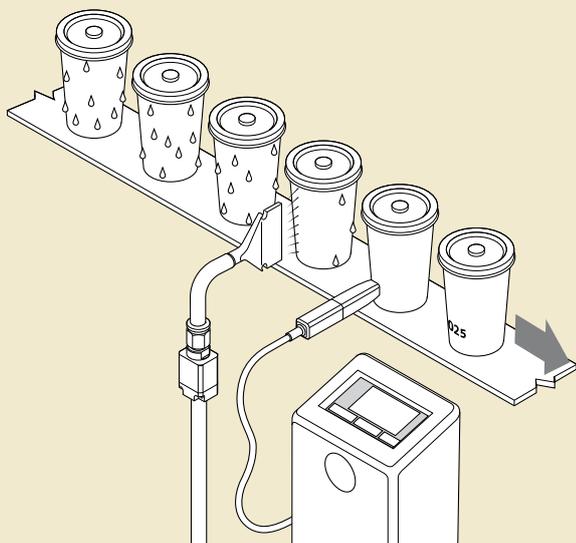


●コンベア上のワークに付着したゴミを取り除くためにノズルの付いた小形パルスブローを複数取付けます。

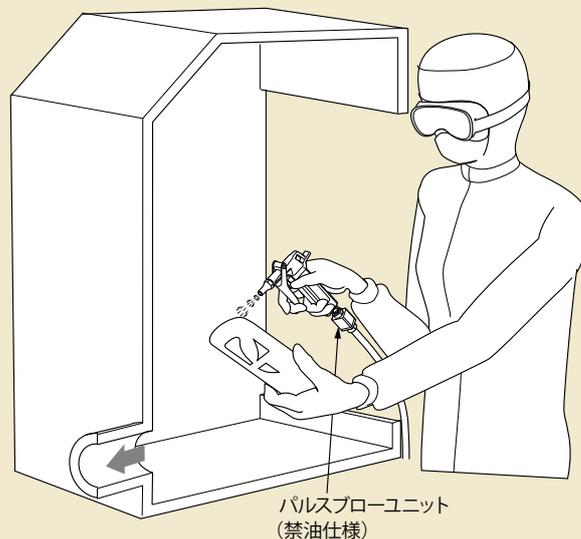


使用例

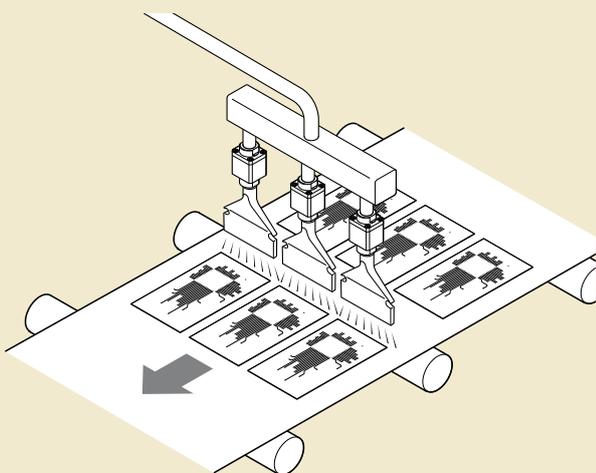
- コンベア上のワークに付着した水滴を取り除いた後にレーザー印字するためにノズルの付いたパルスブローユニットを使用します。



- 簡易クリーンルーム内のクリーンボックス内でワークに付着したゴミを除去するためにパルスブローユニットを着けたエアガンを使用します。



- コンベア上のワークに付着したゴミを取り除くためにノズルの付いたパルスブローユニットを3台取付けます。



パルスブローエアガン

PAGシリーズ



仕様

項目		形式	PAG - □
使用流体			空気 ^{注1}
給油			不可
使用圧力範囲		MPa	0.35 ~ 0.7
使用温度範囲		°C	5 ~ 50
パルス周波数		Hz	5 ~ 15
配管接続口径			配管側：Rc1/4 ノズル側：G1/8
ノズル径 ^{注2}		mm	標準ノズル：φ 2、φ 3、φ 4 / ロングノズル：φ 2.3 / 増幅ノズル：φ 3
質量		g	194 (本体のみ)
材質	本体カバー		PBT樹脂
	レバー		POM樹脂

注1：使用される空気は、油分、固形物などを含まない清浄空気を使用してください。

ドレンやゴミなどがパルスブローエアガンの中に入ると作動不良の原因となります。

注2：出荷時、ノズルは添付となっております。ノズルのねじ部にシールテープを巻いて組み付けてください。

注3：本製品は内部にグリスを使用しています。

注文記号

●本体

PAG-□

ノズル径

- N：ノズルなし
- 2：φ 2mm 標準ノズル
- 3：φ 3mm 標準ノズル
- 4：φ 4mm 標準ノズル



●アディショナルパーツ（ノズル単体）

・標準ノズル

PAGZ-□

ノズル径

- 2：φ 2mm 標準ノズル
- 3：φ 3mm 標準ノズル
- 4：φ 4mm 標準ノズル

(標準ノズル)



・増幅ノズル (φ 3mm)

PAGZ-ZN3

(増幅ノズル)



・ロングノズル

PAGZ-45 x □

ノズル長さ

- 150：φ 2.3mm 長さ 170mm ロングノズル
- 200：φ 2.3mm 長さ 220mm ロングノズル

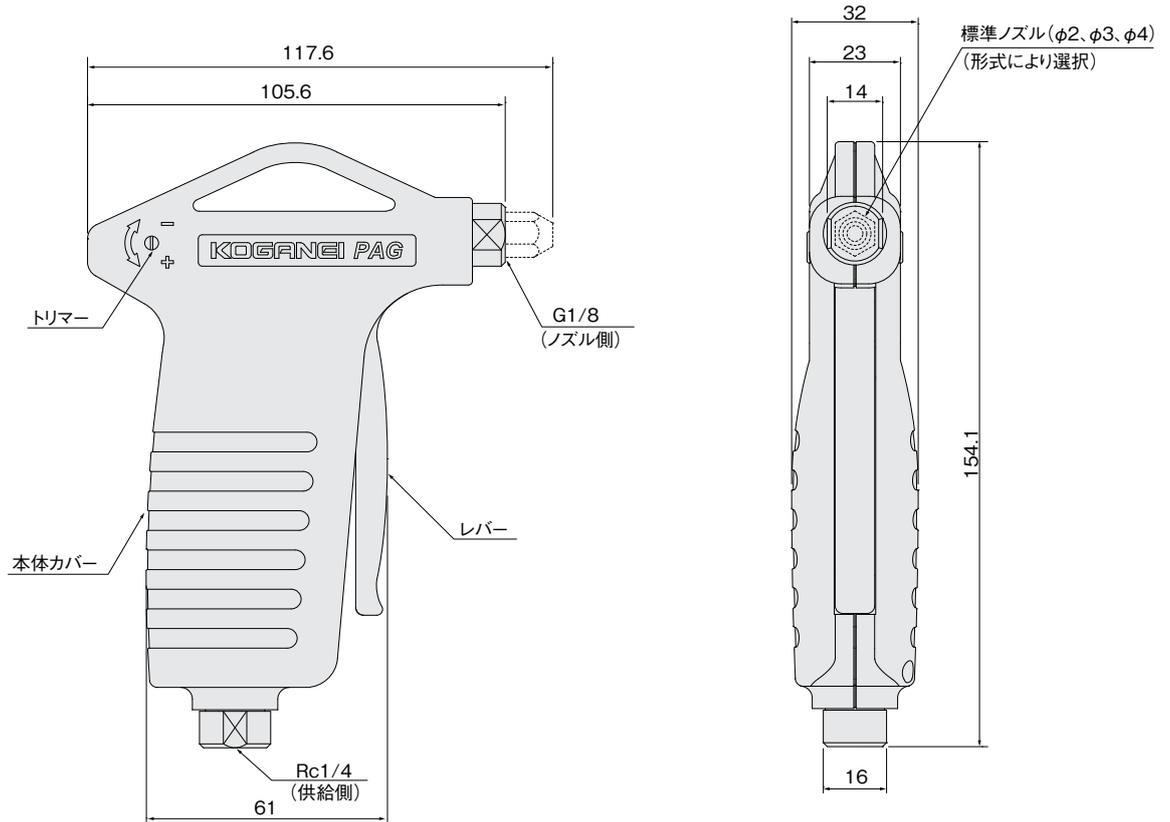
(ロングノズル)



寸法図 (mm)

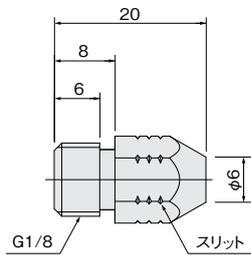
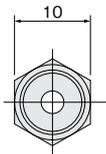
● 本体

PAG-□



● 標準ノズル (識別: スリット数)

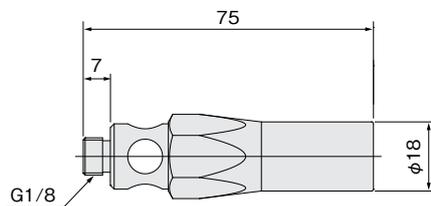
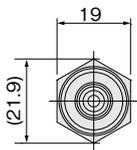
PAGZ-□



スリット数	ノズル径 (mm)
2	φ 2
3	φ 3
4	φ 4

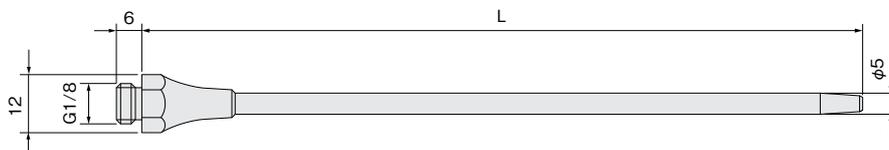
● 増幅ノズル

PAGZ-ZN3



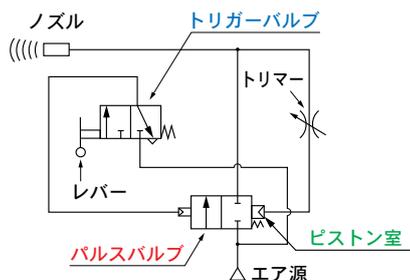
● ロングノズル

PAGZ-45×□



形式	L(mm)
PAGZ-45 × 150	170
PAGZ-45 × 200	220

作動原理



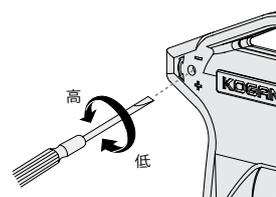
1. レバーを引くとトリガーバルブからの信号によりパルスバルブが開く。
 2. パルスバルブが開きノズルからエアが吐出される。
 3. パルスバルブからの吐出エアの一部はトリマーを通り、ピストン室に蓄圧されていく。
 4. ある程度蓄圧されるとパルスバルブが閉じ、ノズルからの吐出エアが止まると同時にピストン室のエアが排出されていく。
 5. ピストン室のエアがある程度排出されると再びパルスバルブが開きノズルからエアが吐出される。
- 以降3～5の繰り返し ※トリマーによりパルス周波数調整可能

周波数調整方法

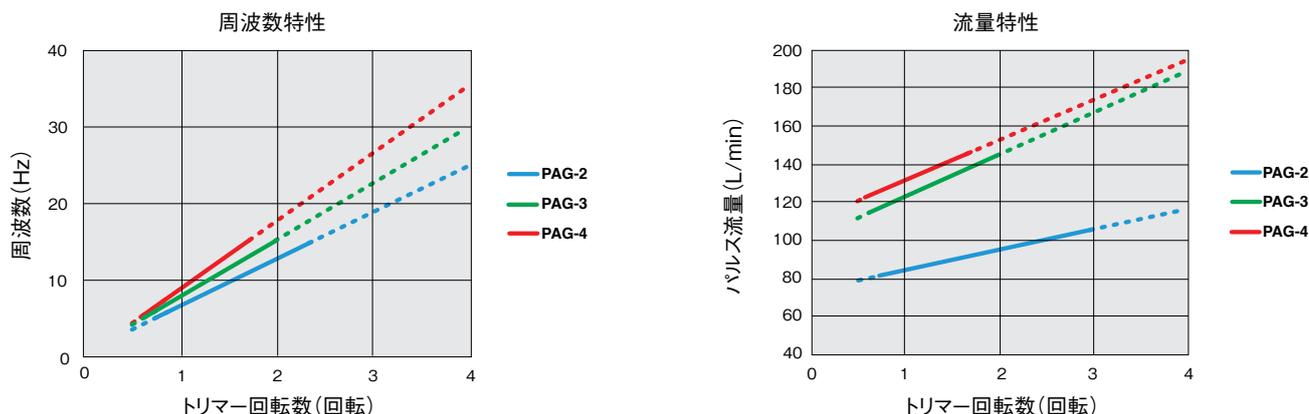
右図の周波数調整トリマーを回すことで、パルス周波数を調整することができます。調整には精密マイナスドライバーを使用してください。

- +方向（反時計回り）：周波数が高くなります。
- 方向（時計回り）：周波数が低くなります。

注：トリマーは反時計回りで周波数が上がり時計回りで下がりますが、トリマーを全開全閉したあと、必要以上にトリマーを回し過ぎると構成部品が破損する原因になります。



トリマー回転数に対する周波数特性及び流量特性（標準ノズル）



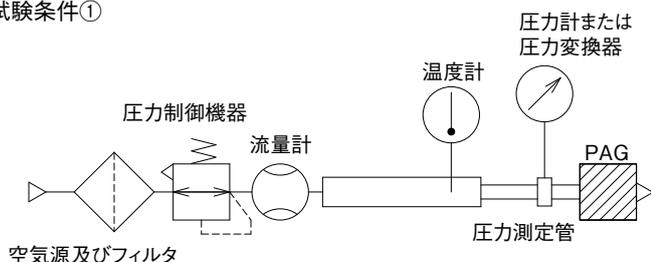
注 1：当社試験条件①による。

注 2：配管条件や使用するノズルにより周波数特性と流量特性は異なります。

注 3：仕様表に記載のパルス周波数範囲内（5～15Hz）で使用してください。

注 4：ロングノズルと増幅ノズルの場合は別途お問い合わせください。

試験条件①

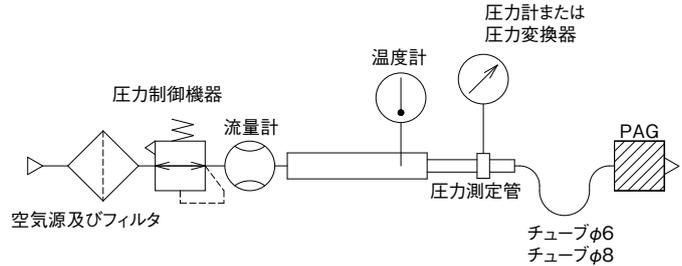


パルスブローエアーガン 配管条件による作動について (標準ノズル)

供給側の配管条件により作動が不安定になる場合があります。下表をご参照ください。

形式	使用圧力	チューブφ6			チューブφ8		
		1000mm	3000mm	5000mm	1000mm	3000mm	5000mm
PAG-2	0.35MPa	○	○	○	○	○	○
	0.5MPa	○	○	○	○	○	○
	0.7MPa	○	○	○	○	○	○
PAG-3	0.35MPa	○	×	×	○	○	○
	0.5MPa	○	×	×	○	○	○
	0.7MPa	○	○	×	○	○	○
PAG-4	0.35MPa	○	×	×	○	○	○
	0.5MPa	○	×	×	○	○	○
	0.7MPa	○	×	×	○	○	○

試験条件②



注1：○：作動安定 ×：作動不安定 (当社試験条件②による)

注2：配管条件により圧力降下、流量不足が生じた場合、作動が不安定になります。

注3：ロングノズルと増幅ノズルの場合は別途お問い合わせください。

取扱い注意事項

警告

- ノズルの先端は人に向けないでください。
- エアブローにより飛散物が目に入ること、また騒音性難聴になる可能性があるため保護メガネと耳栓を着用してください。
- 万一漏れが発生した場合や破損時の安全確保のため、供給側に遮断弁を設置してください。

注意

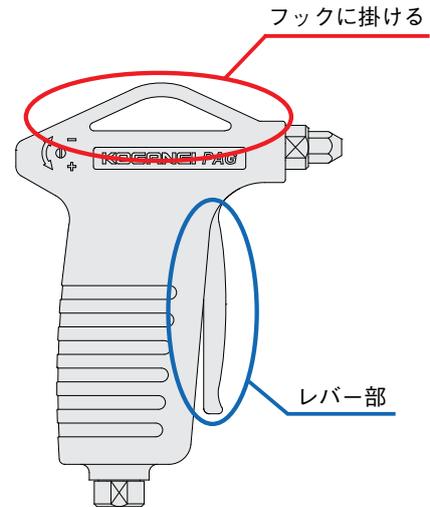
- 油分、固形物が混入した空気は使用できません。供給流体には清浄空気 (ろ過度40μm以下のフィルタを使用のこ) を使用してください。本製品内にドレンやゴミなどが入ると作動不良の原因となります。
- 供給流体は、製品のブローによって結露・結霜が発生しないように、冷凍式エアドライヤ・アフタークーラなどを介して、露点温度を周囲雰囲気温度よりも低くしてください。
- 本製品は仕様表に記載のパルス周波数範囲内で使用してください。
- 本製品は圧力のバランスで作動するため、パルス作動が安定するよう十分な圧力と流量を供給してください。
- 供給ポート側の配管やノズルのねじ込みの際は製品の二面幅をスパナ等で押さえ、下記トルク範囲で締め込んでください。

供給側 推奨締め付けトルク：7~9N・m

ノズル側 推奨締め付けトルク：4.5~6.5N・m

- チューブは外面にキズの無いものを使用してください。また、供給ポート付近で極端に曲げたりこじったりしないでください。エア漏れの原因になります。
- 塵埃の多い場所や、飛散する場所に放置すると内部へ侵入し、作動不良の原因となる可能性があります。

- ノズル先端に無理な外力を加えないでください。破損の原因になります。
- ノズル側から圧力を入れると作動不良・破損の原因になります。
- 製品を落としたり、踏みつけたり、ぶつけたりしないでください。破損の原因になります。
- 本製品を使用後は、必ずフック等に掛けて保管してください。尚、レバー部に掛けると、作動不良・破損の原因になります。



注意

※ご使用になる前に総合カタログ・ホームページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

小形パルスブローユニット

PAU-05シリーズ



仕様

形式・配管仕様		PAU-05-□					
項目		M5	J4	J6	01A	01B	01C
使用流体		空気					
使用圧力範囲	MPa	0.2 ~ 0.5					
パルス周波数	Hz	20 ± 5 (0.5MPa印加時) ^注					
使用温度範囲	°C	5 ~ 50					
材質		本体: アルミ合金 INポート: アルミ合金 (-J4、-J6はPBT)					
質量	g	14	14	14	15	15	15
ポートサイズ	INポート	M5 × 0.8	φ4継手	φ6継手	Rc1/8	R1/8	G1/8
	OUTポート	M5 × 0.8	M5 × 0.8	Rc1/8	Rc1/8	Rc1/8	G1/8

注1: 周波数の調整はできません。0.5MPa印加時に発生する周波数になります。詳細は⑩ページの圧力に対する周波数特性を参照ください。
 注2: 使用される空気は、油分、固形物などを含まない清浄空気を使用してください。ドレンやゴミなどがパルスブローユニットの中に入ると作動不良の原因となります。
 注3: 本製品は内部にグリースを使用しています。

注文記号

● 本体

PAU-05-□

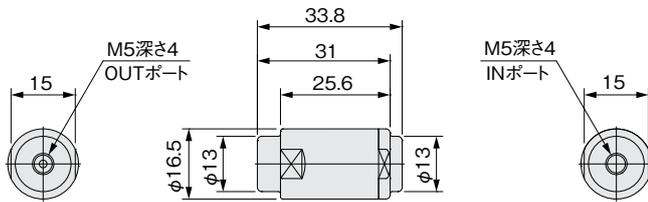
配管接続口径

M5 : IN 配管・M5 (めねじ) OUT 配管・M5 (めねじ)
J4 : IN 配管・φ4 クイック継手 OUT 配管・M5 (めねじ)
J6 : IN 配管・φ6 クイック継手 OUT 配管・Rc1/8
01A : IN 配管・Rc1/8 OUT 配管・Rc1/8
01B : IN 配管・R1/8 OUT 配管・Rc1/8
01C : IN 配管・G1/8 (おねじ) OUT 配管・G1/8 (めねじ)

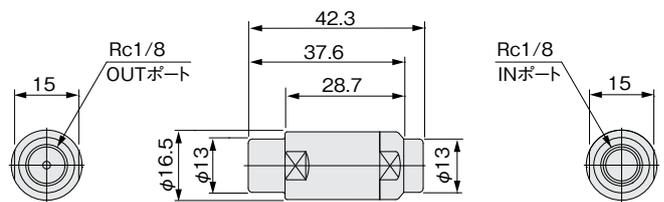
備考: 固定用の取付ブラケットは用意されていません。固定して使用する際は別途用意をお願いします。
 《推奨取付ブラケット》
 ●株式会社アカギ 樹脂バンド (色: ライトグレー) CLIC 標準
 型番: A10530-0284

寸法図 (mm)

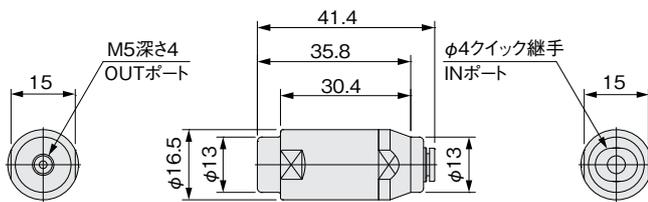
● PAU-05-M5



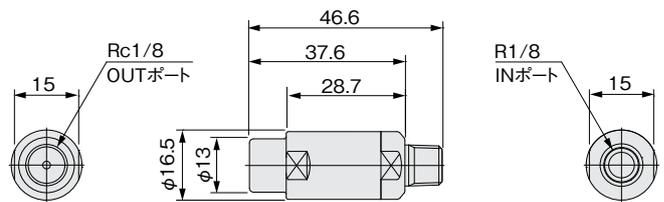
● PAU-05-01A



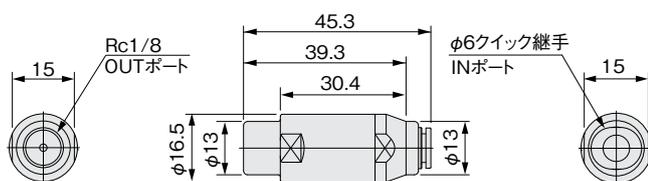
● PAU-05-J4



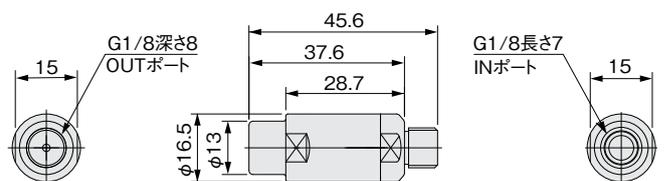
● PAU-05-01B



● PAU-05-J6



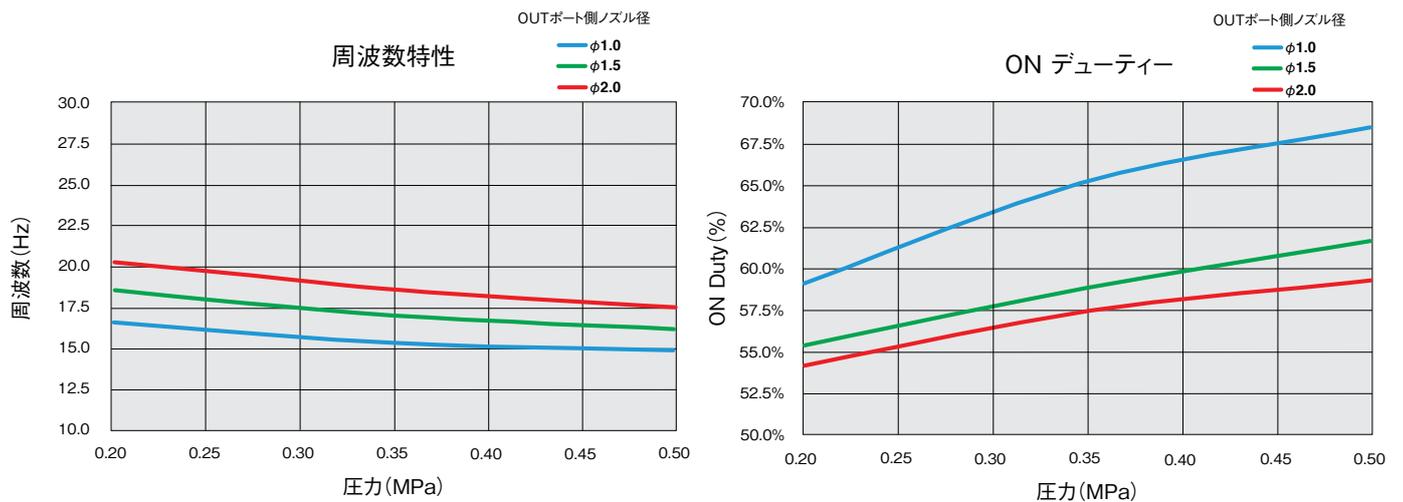
● PAU-05-01C



IN 配管 OUT 配管の外観

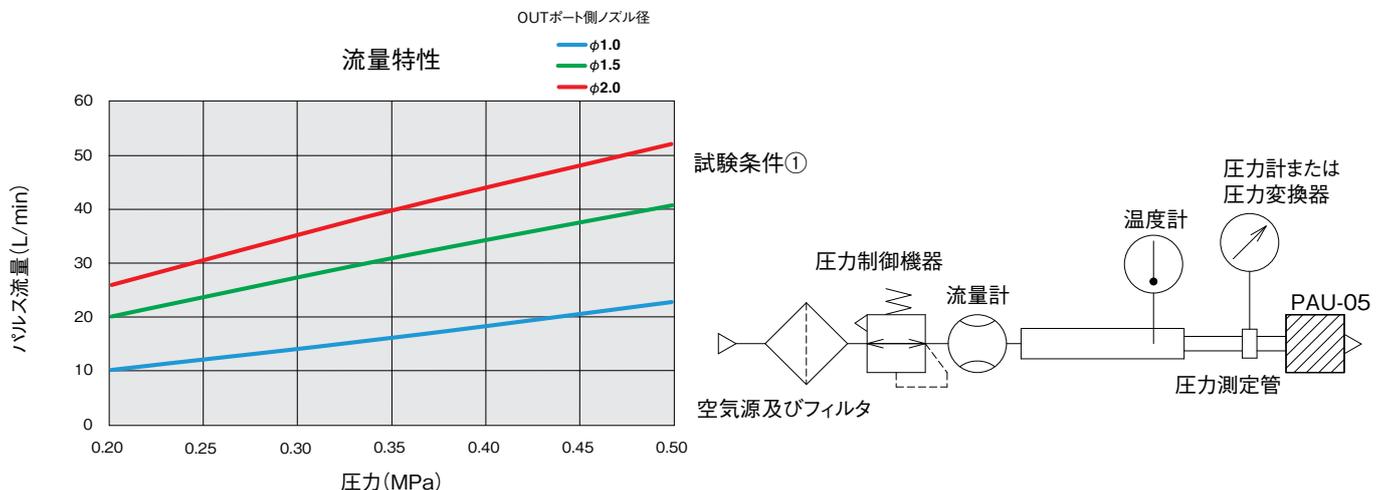
形式	PAU-05-M5	PAU-05-J4	PAU-05-J6	PAU-05-01A	PAU-05-01B	PAU-05-01C
IN 配管						
配管口径	M5(めねじ)	φ4クイック継手	φ6クイック継手	Rc1/8(めねじ)	R1/8(おねじ)	G1/8(おねじ)
OUT 配管						
配管口径	M5(めねじ)	M5(めねじ)	Rc1/8(めねじ)	Rc1/8(めねじ)	Rc1/8(めねじ)	G1/8(めねじ)

圧力に対する周波数特性及び流量特性



《上記グラフの見方》

圧力 0.35MPa ノズル径 φ 2 の時、周波数は 19Hz、ON デューティーは 57.5%です。この時のエア削減量は 42.5% になります。



注 1: 当社試験条件①による。

注 2: 配管条件や使用するノズルにより周波数特性と流量特性は異なります。

パルスブローユニット 配管条件による作動について

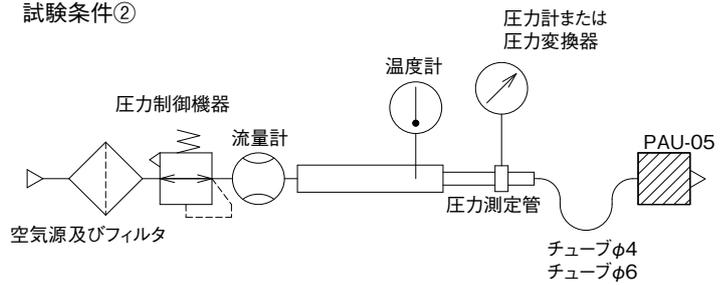
INポート側の配管条件により作動が不安定になる場合があります。下表をご参照ください。

ノズル径	使用圧力	チューブφ4			チューブφ6		
		1000mm	3000mm	5000mm	1000mm	3000mm	5000mm
φ 1.0	0.20MPa	○	○	○	○	○	○
	0.35MPa	○	○	○	○	○	○
	0.50MPa	○	○	○	○	○	○
φ 1.5	0.20MPa	○	○	○	○	○	○
	0.35MPa	○	○	○	○	○	○
	0.50MPa	○	○	○	○	○	○
φ 2.0	0.20MPa	○	○	×	○	○	○
	0.35MPa	○	○	○	○	○	○
	0.50MPa	○	○	○	○	○	○

注1：○：作動安定 ×：作動不安定（当社試験条件②による）

注2：配管条件により圧力降下、流量不足が生じた場合、作動が不安定になります。

試験条件②



取扱い注意事項

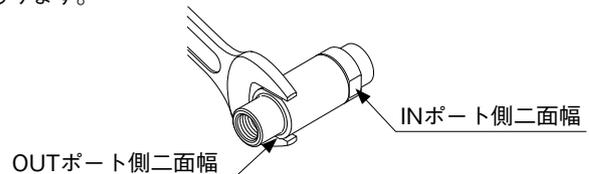
警告

- エアブローにより飛散物が目に入ること、また騒音性難聴になる可能性があるため保護メガネと耳栓を着用してください。
- 万一漏れが発生した場合や破損時の安全確保のため、INポート側に遮断弁を設置してください。

注意

- 油分、固形物が混入した空気は使用できません。供給流体には清浄空気（ろ過度40μm以下のフィルタを使用のこと）を使用してください。本製品内にドレンやゴミなどが入ると作動不良の原因となります。
- 供給流体は、製品のブローによって結露・結霜が発生しないように、冷凍式エアドライヤ・アフタークーラなどを介して、露点温度を周囲雰囲気温度よりも低くしてください。
- 本製品は圧力のバランスで作動するため、パルス作動が安定するよう十分な圧力と流量を供給してください。
- 本製品と連結するエアブローガンまたはノズルは、1対1を推奨します。
- 本製品と遮断弁などを離して設置する場合は、1次側はφ4×2.5チューブを使用する場合は3m以内にしてください。また、2次側はノズル直付けを推奨します。

- 配管作業はINポートへの配管時「INポート側二面幅」、OUTポートへの配管時「OUTポート側二面幅」をスパナ等で押さえ、下記推奨締付けトルク範囲で締め込んでください。異なる二面幅を使用しての配管作業を行なうと、製品を破損する可能性があります。



ねじサイズ	M5 × 0.8	Rc1/8、R1/8、G1/8
推奨締付けトルク	N・m 1～1.5	4.5～6.5

- チューブは外面にキズの無いものを使用してください。また、INポート付近で極端に曲げたりこじったりしないでください。エア漏れの原因になります。
- 静電気除去装置の2次側へは取付けないでください。エアブローによる除電機能が著しく低下します。



注意

※ご使用になる前に総合カタログ・ホームページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

パルスブローユニット

PAUシリーズ



仕様

形式		PAU
項目		
使用流体		空気
使用圧力範囲	MPa	0.35 ~ 0.7
パルス周波数	Hz	5 ~ 15
使用温度範囲	℃	5 ~ 50
質量	g	73
材質	本体	アルミ合金
	ブラケット	軟鋼 (ニッケルめっき)
配管接続口径		IN: Rc1/4
		OUT: G1/4

注1: 使用される空気は、油分、固形物などを含まない清浄空気を使用してください。
ドレンやゴミなどがパルスブローユニットの中に入ると作動不良の原因となります。
注2: 本製品は内部にグリースを使用しています。

注文記号

●本体

PAU-

ブラケット
無記入: ブラケットなし
21: ブラケット付 (添付)

●アディショナルパーツ (別売)

ブラケット (M3 ビス 2本添付)

PAUZ-21

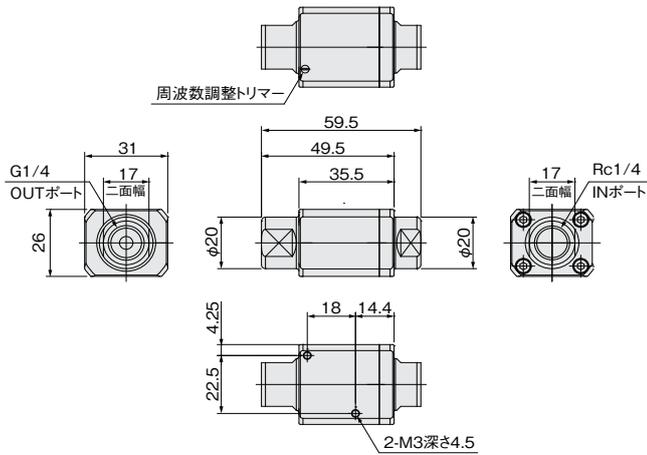
※突出形トリマー仕様もございます。

PAU- -3W

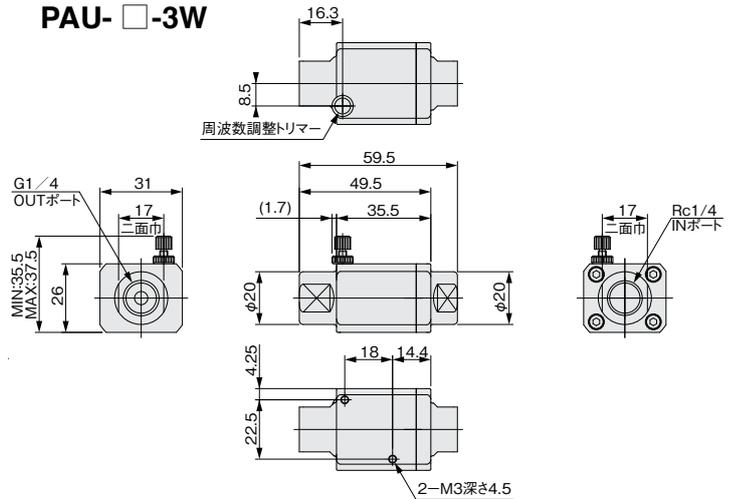
ブラケット
無記入: ブラケットなし
21: ブラケット付 (添付)

寸法図 (mm)

●本体 PAU

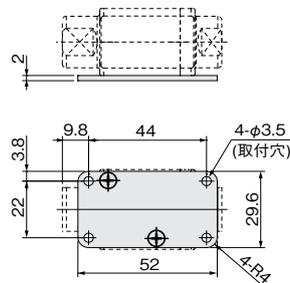


PAU- -3W



アディショナルパーツ (別売)

●ブラケット PAUZ-21



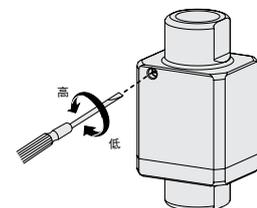
周波数調整方法

右図の周波数調整トリマーを回すことで、パルス周波数を調整することができます。
調整には精密マイナスドライバーを使用してください。

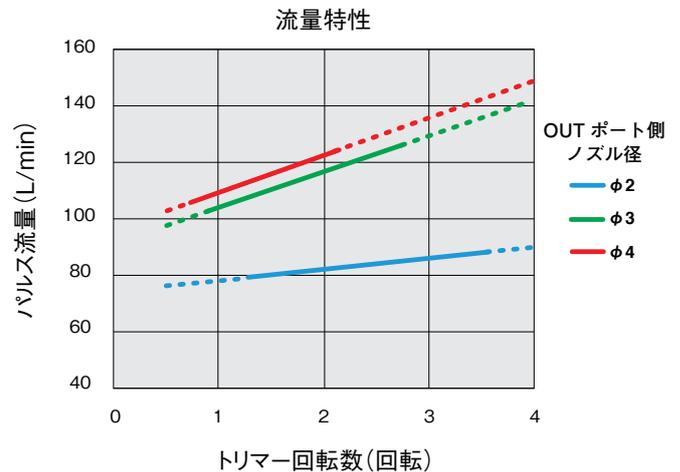
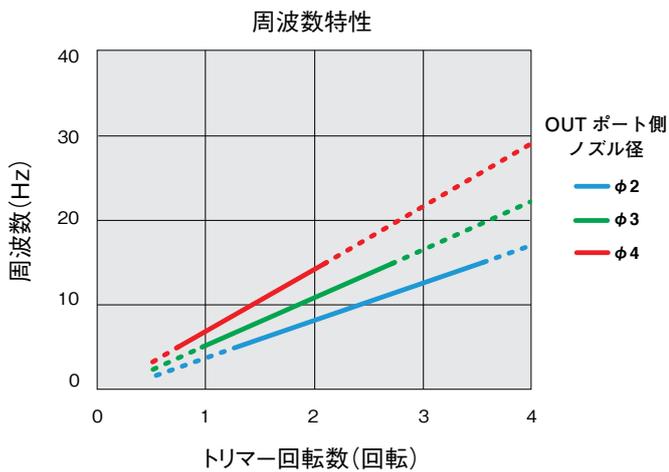
＋方向 (反時計回り): 周波数が高くなります。

－方向 (時計回り): 周波数が低くなります。

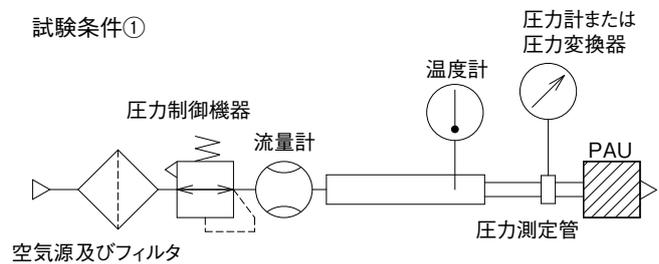
注: トリマーは反時計回りで周波数が上がり時計回りで下がりますが、
トリマーを全開全閉したあと、必要以上にトリマーを回し過ぎると構成部品が破損する
原因になります。



トリマー回転数に対する周波数特性及び流量特性



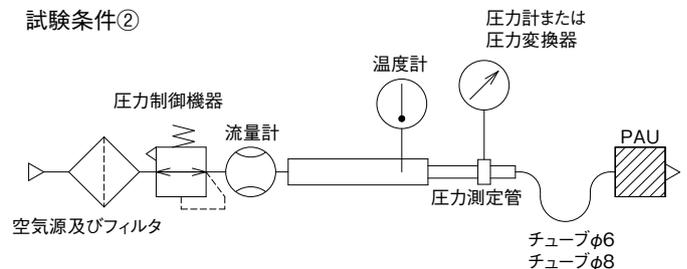
注1: 当社試験条件①による。
 注2: 配管条件や使用するノズルにより周波数特性と流量特性は異なります。
 注3: 仕様表に記載のパルス周波数範囲内 (5 ~ 15Hz) で使用してください。



パルスブローユニット 配管条件による作動について

INポート側の配管条件により作動が不安定になる場合があります。下表をご参照ください。

ノズル径	使用圧力	チューブφ6			チューブφ8		
		1000mm	3000mm	5000mm	1000mm	3000mm	5000mm
φ2	0.35MPa	○	○	○	○	○	○
	0.5MPa	○	○	○	○	○	○
	0.7MPa	○	○	○	○	○	○
φ3	0.35MPa	○	○	×	○	○	○
	0.5MPa	○	○	○	○	○	○
	0.7MPa	○	○	○	○	○	○
φ4	0.35MPa	○	×	×	○	○	○
	0.5MPa	○	×	×	○	○	○
	0.7MPa	○	×	×	○	○	○



注1: ○: 作動安定 ×: 作動不安定 (当社試験条件②による)
 注2: 配管条件により圧力降下、流量不足が生じた場合、作動が不安定になります。

取扱い注意事項

警告

- エアブローにより飛散物が目に入ること、また騒音性難聴になる可能性があるため保護メガネと耳栓を着用してください。
- 万一漏れが発生した場合や破損時の安全確保のため、INポート側に遮断弁を設置してください。

注意

- 油分、固形物が混入した空気は使用できません。供給流体には清浄空気 (ろ過度40μm以下のフィルタを使用のこ) を使用してください。本製品内にドレンやゴミなどが入ると作動不良の原因となります。
- 供給流体は、製品のブローによって結露・結霜が発生しないように、冷凍式エアドライヤ・アフタークーラなどを介して、露点温度を周囲雰囲気温度よりも低くしてください。

- 本製品は仕様表に記載のパルス周波数範囲内で使用してください。
- 本製品は圧力のバランスで作動するため、パルス作動が安定するよう十分な圧力と流量を供給してください。
- 本製品と連結するエアブローガンまたはノズルは、1対1を推奨します。
- 本製品とエアブローガンまたはノズルを離して設置する場合は、φ8×6チューブ、2m以内を推奨します。
- INポートやOUTポートへの配管の際は製品の二面幅をスパナ等で押さえ、下記トルク範囲で締め込んでください。

推奨締め付けトルク	N・m	PAU
		7 ~ 9

- チューブは外面にキズの無いものを使用してください。また、INポート付近で極端に曲げたりこじったりしないでください。エア漏れの原因になります。
- 静電気除去装置の2次側へは取付けしないでください。エアブローによる除電機能が著しく低下します。

注意 ※ご使用になる前に総合カタログ・ホームページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

パルスブローユニット

PAUシリーズ 大流量タイプ



仕様

項目	形式	
	PAU-30-02 (-25)	PAU-30-03 (-25)
使用流体	空気	
使用圧力範囲	MPa	0.35 ~ 0.7
パルス周波数	Hz	5 ~ 15
使用温度範囲	°C	5 ~ 50
質量	g	105 (113) / 100 (108)
材質	アルミ合金	
配管接続口径	IN	Rc1/4
	OUT	Rc3/8

注1：使用される空気は、油分、固形物などを含まない清浄空気を使用してください。
ドレンやゴミなどがパルスブローユニットの中に入ると作動不良の原因となります。
注2：本製品は内部にグリースを使用しています。

注文記号

●本体

PAU-30-□ - □

ダイレクトマウント

無記入：取付穴・ブラケットなし
25：ダイレクトマウント

配管接続口径

02：Rc1/4 (IN・OUT 共通)

03：Rc3/8 (IN・OUT 共通)

※突出形トリマー仕様もございます。

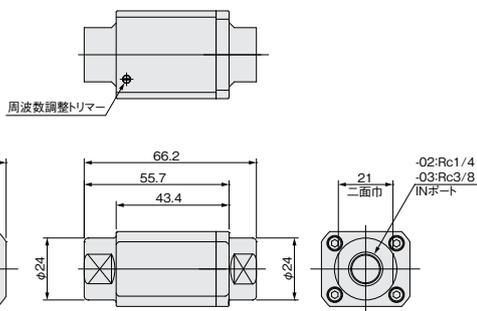
PAU-30-□-3W

PAU-30-□-25-3W

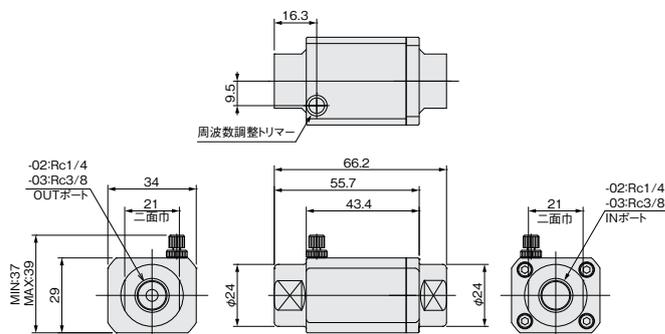
寸法図 (mm)

●本体

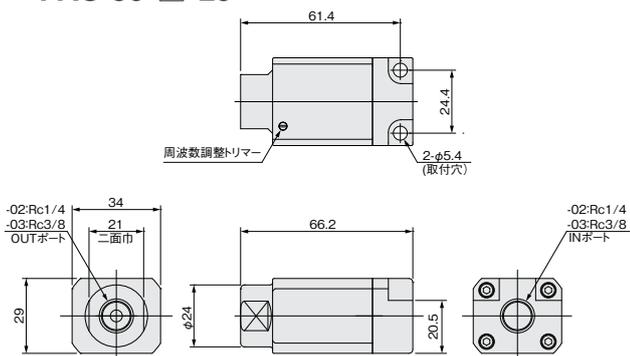
PAU-30-□



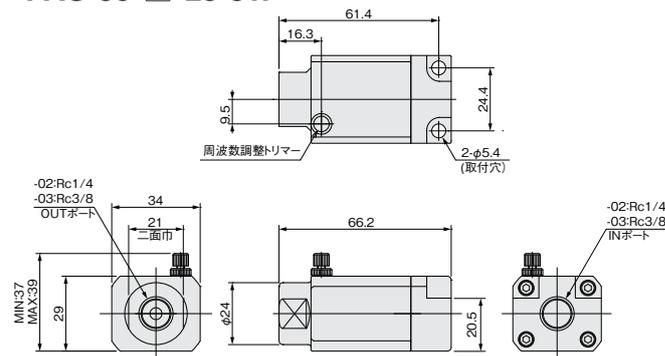
PAU-30-□-3W



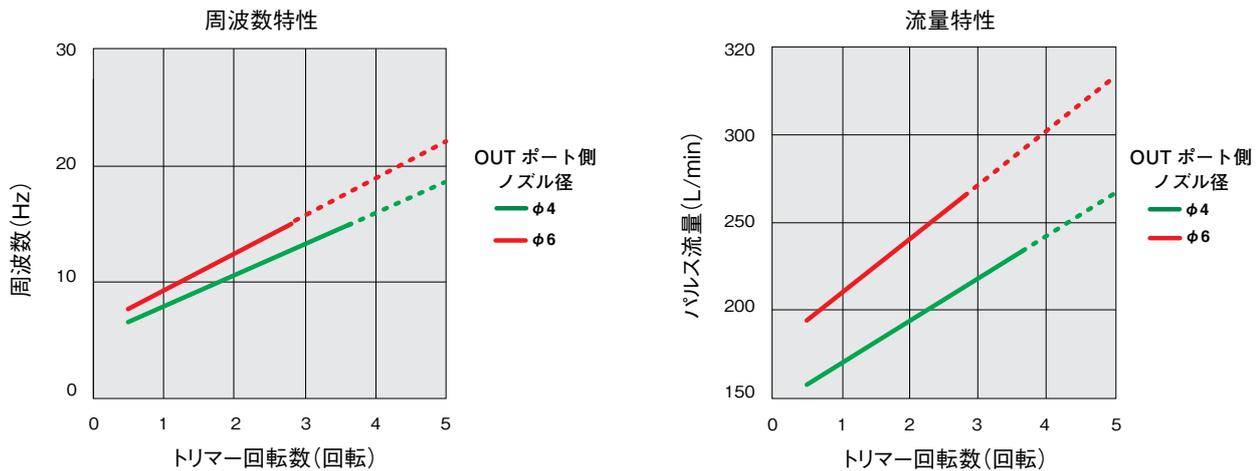
PAU-30-□-25



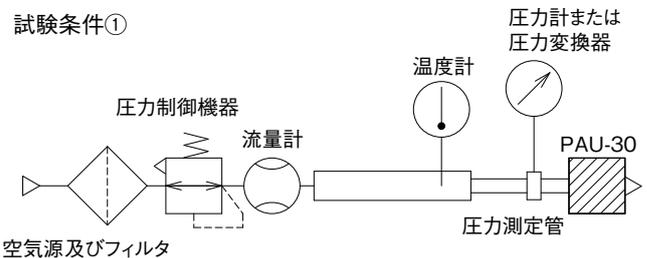
PAU-30-□-25-3W



トリマー回転数に対する周波数特性及び流量特性



注 1：当社試験条件①による。
 注 2：配管条件や使用するノズルにより周波数特性と流量特性は異なります。
 注 3：仕様表に記載の puls 周波数範囲内（5～15Hz）で使用してください。

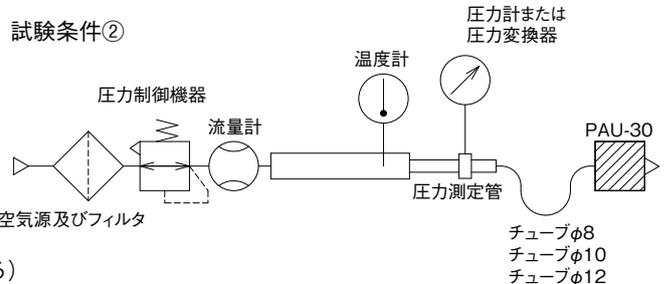


パルスブローユニット 配管条件による作動について

IN ポート側の配管条件により作動が不安定になる場合があります。下表をご参照ください。

ノズル径	使用圧力	チューブφ8		チューブφ10		チューブφ12	
		1000mm	5000mm	1000mm	5000mm	1000mm	5000mm
φ4	0.35MPa	○	△	○	○	○	○
	0.5MPa	○	△	○	○	○	○
	0.7MPa	○	△	○	○	○	○
φ6	0.35MPa	○	△	○	△	○	○
	0.5MPa	○	△	○	△	○	○
	0.7MPa	○	△	○	△	○	○

注 1：○：作動安定 △：最低周波数 5～10Hz（当社試験条件②による）
 注 2：配管条件により圧力降下、流量不足が生じた場合、作動が不安定になります。



取扱い注意事項

警告

- エアブローにより飛散物が目に入ること、また騒音性難聴になる可能性があるため保護メガネと耳栓を着用してください。
- 万一漏れが発生した場合や破損時の安全確保のため、INポート側に遮断弁を設置してください。

注意

- 油分、固形物が混入した空気は使用できません。供給流体には清浄空気（ろ過度40μm以下のフィルタを使用のこ）を使用してください。本製品内にドレンやゴミなどが入ると作動不良の原因となります。
- 供給流体は、製品のブローによって結露・結霜が発生しないように、冷凍式エアドライヤ・アフタークーラなどを介して、露点温度を周囲雰囲気温度よりも低くしてください。
- 本製品は仕様表に記載の puls 周波数範囲内で使用してください。

- 本製品は圧力のバランスで作動するため、パルス作動が安定するよう十分な圧力と流量を供給してください。
- 本製品と連結するエアブローガンまたはノズルは、1対1を推奨します。
- 本製品とエアブローガンまたはノズルを離して設置する場合は、φ8×6チューブ、2m以内を推奨します。
- INポートやOUTポートへの配管の際は下記トルク範囲で締め込んでください。

推奨締め付けトルク	N・m	PAU-30-02(-25)	PAU-30-03(-25)
		7～9	12.5～14.5

※INポート側・OUTポート側配管 共通

- チューブは外面にキズの無いものを使用してください。また、INポート付近で極端に曲げたりこじったりしないでください。エア漏れの原因になります。
- 静電気除去装置の2次側へは取付けないでください。エアブローによる除電機能が著しく低下します。



注意

※ご使用になる前に総合カタログ・ホームページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

特殊対応

PAU シリーズ共通

2022年5月現在

対応可能内容	PAU-05	PAU	PAU-30
ワセリン仕様	○	○	○
H1 グリス仕様	○	○	○
突出形トリマー	—	○	○
禁油仕様 (グリス拭取相当・フッ素形速乾性潤滑剤塗布)	○	○	○
IN・OUT ポート Rc1/8	標準仕様	○	○
低圧仕様、OUT ポート Rc1/4	—	○	○

○：対応可 —：対応不可

IN ポート、OUT ポートは G ねじ、NPT ねじの対応も可能です。
詳細内容については当社へお問い合わせください。



株式会社コガネイ

□本社 □営業本部 □海外営業グループ
184-8533 東京都小金井市緑町 3-11-28

- 仙台営業所 984-0015 仙台市若林区卸町1-6-15 卸町セントラルビル4F
TEL (022) 232-0441 FAX (022) 232-0062
- 山形営業所 990-0828 山形市双葉町2-4-38 双葉中央ビル2F
TEL (023) 643-1751 FAX (023) 643-1752
- 宇都宮出張所 321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷4-4-1 藤田ビル203号
TEL (028) 680-4720 FAX (028) 680-4730
- 群馬出張所 372-0812 群馬県伊勢崎市連取町3082-1 シルクタウンE号室
TEL (0270) 40-7651 FAX (0270) 40-6733
- 茨城出張所 300-1207 茨城県牛久市ひたち野東1-29-2 プロGRESS壱番館102
TEL (029) 830-7076 FAX (029) 830-7077
- 千葉出張所 273-0031 千葉県船橋市西船4-19-3 西船成島ビル7階D室
TEL (047) 431-3161 FAX (047) 431-3163
- 東京営業所 105-0023 東京都港区芝浦1-8-4 エムジー芝浦3F
TEL (03) 6436-5481 FAX (03) 6436-5491
- 西東京営業所 184-8533 東京都小金井市緑町3-11-28
TEL (042) 383-7122 FAX (042) 383-7133
- 北関東営業所 331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町3-527-1 第二シマ企画ビル5F
TEL (048) 662-6951 FAX (048) 662-7606
- 南関東営業所 243-0014 神奈川県厚木市旭町1-8-6 パストラルビル3F 302
TEL (046) 220-1851 FAX (046) 220-1850
- 長野営業所 399-4102 長野県駒ヶ根市飯坂2-6-1
TEL (0265) 83-7111 FAX (0265) 82-5535
- 長岡出張所 940-0061 新潟県長岡市城内町3-5-1 レーベン長岡205
TEL (0258) 31-8801 FAX (0258) 31-8831
- 金沢営業所 921-8011 石川県金沢市入江2-54 中村ビル5F
TEL (076) 292-1193 FAX (076) 292-1195
- 静岡営業所 422-8066 静岡県駿河区泉町2-3 アズマビル4F
TEL (054) 286-6041 FAX (054) 286-8483
- 浜松出張所 430-0901 静岡県浜松市中区曳馬6-5-31 田畑ハイツルシアスⅢ 1F 101号
TEL (053) 416-3535 FAX (053) 416-3537
- 名古屋営業所 464-0858 名古屋市千種区千種3-25-19 第1シロキビル5F
TEL (052) 745-3820 FAX (052) 745-3821
- 刈谷出張所 472-0026 愛知県知立市東上重原4-123 MTビル2F
TEL (0566) 84-5336 FAX (0566) 85-0228
- 京都営業所 600-8177 京都市下京区鳥丸通五条下ル大坂町391 第10長谷ビル7F
TEL (075) 344-8811 FAX (075) 344-8815
- 大阪営業所 532-0004 大阪市淀川区西宮原2-7-38 新大阪西浦ビル8F
TEL (06) 6398-6131 FAX (06) 6398-6135
- 神戸営業所 650-0017 兵庫県神戸市中央区楠町6-2-4 ハーバースカイビル7F
TEL (078) 371-0511 FAX (078) 371-0510
- 広島営業所 730-0041 広島市中区小町3-19 リファレンス広島小町ビル5F
TEL (082) 546-2351 FAX (082) 546-2352
- 福岡営業所 812-0011 福岡市博多区博多駅前2-19-29 博多相互ビル4F
TEL (092) 411-5526 FAX (092) 451-2895
- 熊本営業所 862-0913 熊本県熊本市東区尾ノ上2-3-3-3
TEL (096) 383-7171 FAX (096) 383-7172

- 駐在所 □札幌 □岩手 □秋田 □郡山 □甲府 □上田 □富山
□福井 □滋賀 □岡山 □松山 □徳島 □北九州 □南九州

- 海外営業グループ
184-8533 東京都小金井市緑町3-11-28
TEL (042) 383-7271 FAX (042) 383-7276
- KOGANEI International America, Inc. (アメリカ)
 - 上海小金井国際貿易(中国) ○台湾小金井貿易(台湾)
 - KOGANEI KOREA CO.,LTD. (韓国)
 - KOGANEI (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
 - KOGANEI AUTOMATION (MALAYSIA) SDN,BHD. (マレーシア)
 - KOGANEI ASIA PTE. LTD. (シンガポール)

- 工場 □東京(小金井) □長野(駒ヶ根) ○九州コガネイ(都城)
○上海小金井電子(中国)
○コガネイベトナム

- 流通センター □長野(駒ヶ根)
□技術サービスセンター 184-8533 東京都小金井市緑町3-11-28
TEL (042) 383-7172 FAX (042) 383-7206

お客様技術相談窓口
フリーダイヤル
0120-44-0944
受付時間 9:00~12:00/13:00~17:30
(土日、休日、年末年始を除く)
お気軽にお問い合わせください。

改訂内容

初版
P13 PAU-3Wの注文記号・寸法図 追加
P17 PAUシリーズ特殊対応一覧表 追加

- このカタログは2022年5月現在のものです。
- 記載されている仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。最新の情報は当社ホームページ等でご確認ください。